

答えはすべて解答用紙に書きなさい。 円周率は 3.14 とし計算しなさい。 図は正確とは限りません。

1. 次の□の中に適当な数を入れなさい。

(1) $(2391 - 32 \times 28) \div 13 = \square$

(2) $6.6 \times \left(1.5 - \frac{5}{8}\right) \div 0.75 = \square$

(3) $\left(\frac{1}{2} + \frac{4}{3} - \frac{3}{4} + \frac{4}{9}\right) \div \left(\frac{7}{3} + \frac{5}{4} - \frac{3}{8}\right) = \square$

(4) $3\frac{2}{3} - 2\frac{3}{4} \div \left(1\frac{1}{8} \times 2\frac{4}{13} - \frac{3}{8}\right) = \square$

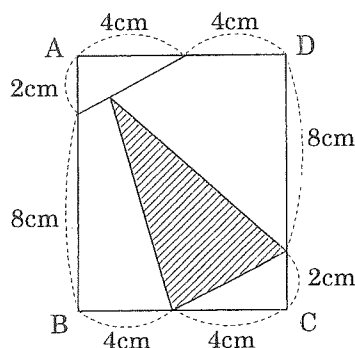
2. 次の□の中に適当な数を入れなさい。

- (1) 連続した 31 個の整数の和が 2015 になりました。それらの連続した整数の中で最も小さい数は□です。

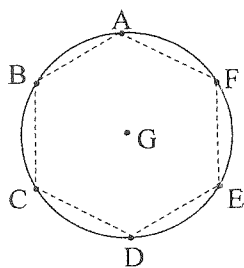
- (2) 容積□ cm^3 の水槽に 2 種類のコップ A, B で水を入れています。コップ A だけで空の水槽に水を入れていくと、6 杯目の途中でいっぱいになり、コップに 8 cm^3 の水が残りまし。また、コップ B だけで空の水槽に水を入れていくと、10 杯目の途中でいっぱいになり、コップに 38 cm^3 の水が残りまし。コップ A, B の容積の差は 45 cm^3 です。

- (3) 太郎君が□歩進む間に、花子さんは 10 歩進みます。太郎君が 4 歩で進む距離を花子さんは 5 歩で進みます。太郎君と花子さんの速さの比は 9 : 8 です。

- (4) 図のような長方形 ABCD において、斜線部分の面積は□ cm^2 です。



- (5) 円周上の A, B, C, D, E, F は正六角形の頂点です。また、点 G はその円の中心です。点 A ~ G の 7 点のうち、3 点を頂点とする三角形は□個あります。

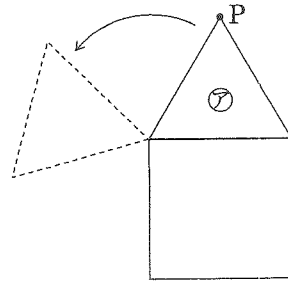


3. 次のように、整数をある規則で並べていきます。

1, 2, 2, 3, 3, 3, 4, 4, 4, 4, 5, …

例えば 10 番目まで並べたとき、その中のすべての偶数の和は 20 になります。100 番目まで並べたとき、その中のすべての偶数の和を求めなさい。

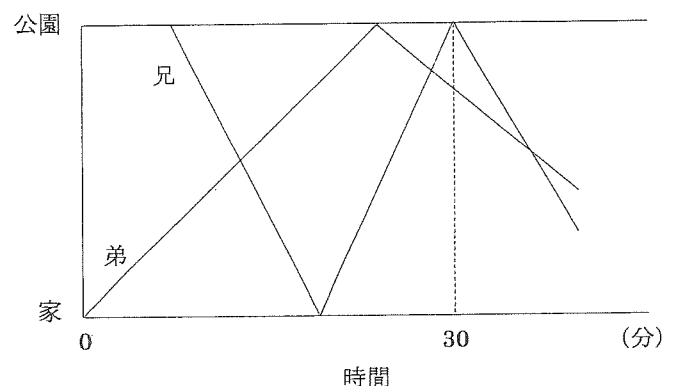
4. 図のように、1 辺 4 cm の正三角形が 1 辺 4 cm の正方形の周りを⑦の位置からすべることなく回転し、元の位置まで 1 周します。このとき頂点 P の動いた長さを求めなさい。



5. 1800 m 離れた家と公園の間を弟は徒歩で、兄は自転車で、それぞれ一定の速さで何度も往復します。弟が家を出発してから 12 分後に兄は公園を出発しました。すると、公園から 720 m の場所で初めて兄が弟を追い抜きました。グラフは弟が出発してからの時間と、2 人の往復している様子を表したものです。次の問いに答えなさい。

- (1) 弟の歩く速さは分速何 m か求めなさい。

- (2) 兄と弟が初めて同時に公園に着くのは、弟が出発してから何分後か求めなさい。



6. ある店では、鉛筆は 1 本 50 円で、消しゴムは 1 個 120 円で、ボールペンは 1 本 136 円で売っています。ある日、135 人の子どもがそれぞれ、鉛筆、消しゴム、ボールペンのいずれかを 1 つ買ったところ、すべての売り上げは 14328 円になりました。鉛筆を買った子どもと消しゴムを買った子どもの人数の比は 2 : 5 でした。鉛筆を買った子どもの人数を求めなさい。

受験番号				
------	--	--	--	--

この線より上には答えを書かないようにしなさい。

1. (1)

(2)

(3)

(4)

4. 【式または考え方】

【答え】

5. (1) 【式または考え方】

2. (1)

(2)

(3)

(4)

(5)

【答え】

(2) 【式または考え方】

3. 【式または考え方】

【答え】

6. 【式または考え方】

【答え】

【答え】